

平成17年度移植対策関係予算概算要求の概要

臓器移植対策室

	概算要求額	前年度予算額
1. 臓器移植対策	524百万円	(518百万円)
<概要>	千円	千円
(1) 臓器移植対策事業費(日本臓器移植ネットワーク)	489,083	(482,751)
(新)・公共広告資料作成費	10,500	(0)
(2) 保健衛生施設等設備整備費(健康局総務課計上)		メニュー
(アイバンク設備、臓器移植コーディネーター設備)		
(3) 医療施設等施設・設備整備費(医政局指導課計上)		メニュー
(腎移植施設、HLA検査センター設備)		
2. 造血幹細胞移植対策	1,986百万円	(1,828百万円)
I. 骨髄移植対策	1,298百万円	(1,202百万円)
<概要>	千円	千円
(1) 骨髄移植対策事業費(骨髄移植推進財団)	493,090	(448,711)
(新)・骨髄提供登録者フォローアップ事業	32,231	(0)
(改)・普及広報委員・説明員研修費	15,431	(3,841)
(改)・説明員活動旅費	18,779	(7,546)
(2) 骨髄データバンク登録費(日本赤十字社)	802,153	(750,575)
検査対象人員の増(30,000人分→33,000人分)		
(3) 医療施設等施設整備費(医政局指導課計上)		メニュー
(特殊病室施設)		
II. さい帯血移植対策	689百万円	(626百万円)
<概要>	千円	千円
(1) さい帯血移植対策事業費(日本赤十字社)	688,600	(625,691)
(新)・さい帯血の安全な管理に係る費用の補助	62,820	(0)
(2) 保健衛生施設等設備整備費(健康局総務課計上)		メニュー
(プログラムフリーザー、液体窒素タンク等)		